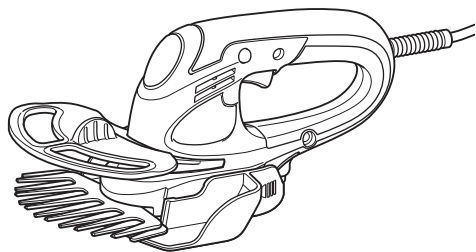




取扱説明書

芝生バリカン

 110mm
モデル MUM1100
 160mm
モデル MUM1600



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは110mm/160mm芝生バリカンをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	5
・ 芝生バリカン安全上のご注意	9
・ 各部の名称	11
・ 標準付属品	12
・ 別販売品のご紹介	13
・ 使い方	14
・ ロックコネクタ付ツナギコード（延長コード）の接続	14
・ 腰用コードフックについて	15
・ スイッチの操作	16
・ ブレードカバーの取りはずし・取り付け方	17
・ 刈り込み高さ調整	18
・ グラスレシーバの取りはずし・取り付け方	20
・ キワ刈りガードの取りはずし・取り付け方	22
・ 刈り込み方法	23
・ 芝生の刈り込み	24
・ 長い芝の刈り方	24
・ 庭木の刈り込み	25
・ 別販売品の使い方	26
・ 腕用コードフックについて	26
・ シャーブレードの交換方法	27
・ 取りはずし方	28
・ 取り付け方	29
・ 保守・点検について	32
・ 本機のお手入れ	32
・ シャーブレードのお手入れ	32
・ 保管	33
・ 修理の際は	33
・ 芝生バリカン 保証書	36

主要機能

主要機能 \ モデル	MUM1100	MUM1600
電動機	直流マグネットモータ	
電圧	単相交流 100 V	
電流	0.9 A	
周波数	50-60 Hz	
消費電力	80 W	
ストローク数 (カット数)	1,250 min ⁻¹ (往復 / 分) (2,500 min ⁻¹ (回 / 分))	
刈り込み幅	110 mm	160 mm
本機寸法	長さ 270 mm × 幅 110 mm × 高さ 130 mm	長さ 280 mm × 幅 160 mm × 高さ 130 mm
質量	0.75 kg	0.79 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 発火や爆発の原因になります。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
5. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
6. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
7. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
4. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
5. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
7. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

⚠ 警告

3. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
4. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
5. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
6. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ その他危険が予想される作業

電動工具の手入れ

1. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
2. 電動工具の保守点検をしてください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
3. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
- #### 2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- #### 3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
- #### 4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- ・ 感電の恐れがあります。
- #### 5. 使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの目安
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
 - ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用する長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

芝生バリカン安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、芝生バリカンとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB113-8

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 草木や枝を手で持って切断したり、シャープブレードに手や顔を近づけないでください。
 - ・ けがの恐れがあります。
3. 雨の中で使ったり、雨ざらしにしないでください。また、ぬれた芝生を刈ったり、ぬれた場所に置かないでください。
 - ・ 感電の原因になります。
4. 使用する前に必ず近くに人がいないことを確認してください。また、使用中には人を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 使用中に異物をかみこんでシャープブレードが動かなくなったときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてから、ペンチ等の工具を使って異物を取り除いてください。
 - ・ 手で異物を取り除くと、取り除いた反動でシャープブレードが動いて、けがの原因になります。
6. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
9. 本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体に負担をかけることがありますので、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。
 - ・ 力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体への負担にご注意ください。
10. スwitchを切っても、惰性でシャープブレードが動き続けることがありますので、手や顔を近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。

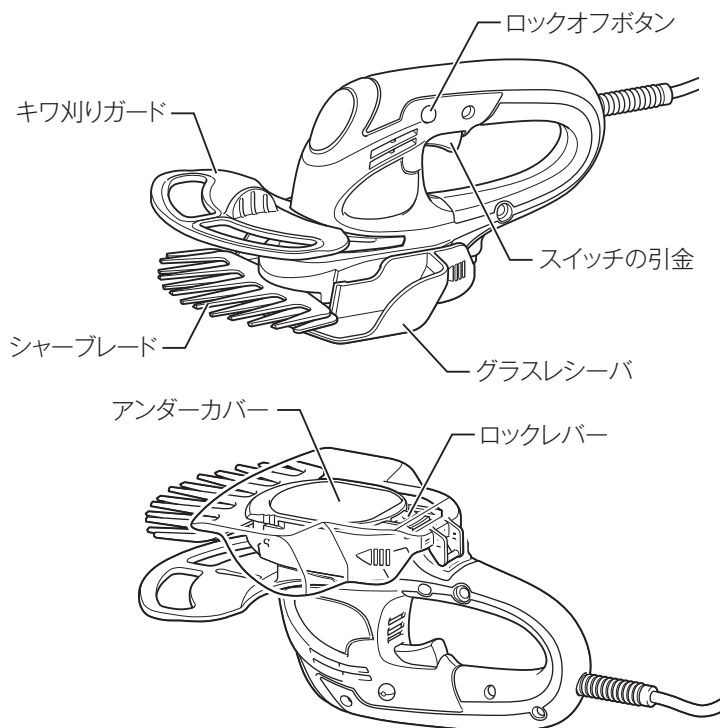
⚠ 警告

11. 子供や本機の操作を理解していない方には使用させないでください。
 - ・ けがの原因になります。
12. 昼間の光や照明のある明るい場所で使用してください。
 - ・ 暗い場所で作業するとけがの原因になります。
13. スイッチを入れるときは、身体にシャープブレードが触れないようにしてください。
 - ・ けがの原因になります。
14. 付属品はマキタ指定のものを使用してください。
 - ・ けがの原因になります。
15. 本機を使用するときには頑丈な靴を着用してください。
16. 必要に応じ、定格感度電流が 30 mA 以下の漏電しゃ断器を使用してください。

⚠ 注意

1. 刈り込みをする前に、芝生内の異物（小石など）を取り除いてください。
 - ・ 飛び散る石や破片などでけがの恐れがあります。
2. 作業を中止したときや使用後は、シャープブレードにブレードカバーを取り付けてください。
 - ・ シャープブレードが露出したまま放置すると、思わぬけがの原因になります。
3. 殺虫剤などの薬品が本機に付いたままにしないでください。
 - ・ 破損や亀裂が生じる恐れがあります。
4. 本機の通気孔をふさがないようにしてください。
 - ・ 故障の原因になります。

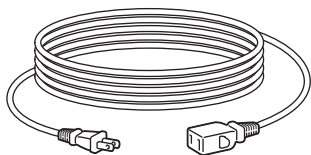
各部の名称



標準付属品

標準付属品

- ・ ロックコネクタ付ツナギコード（延長コード）10m



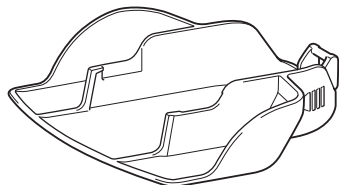
- ・ ブレードカバー（本機取り付け）



- ・ キワ刈りガード（本機取り付け）



- ・ グラスレシーバ（本機取り付け）

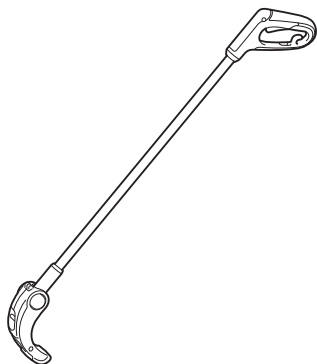


- ・ 腰用コードフック



別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 芝生用ロングハンドルアタッチメント
部品番号：A-51166



- ・ 芝生バリカン用シャープブレード
部品番号：A-51116 (MUM1100 用)
部品番号：A-51100 (MUM1600 用)



- ・ 腕用コードフック
部品番号：A-42254



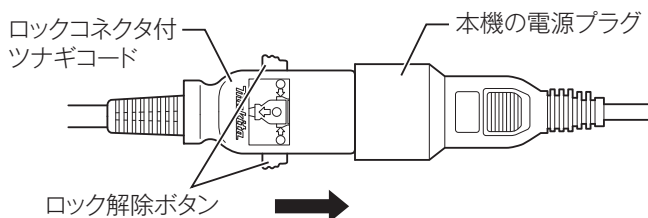
使い方

ロックコネクタ付ツナギコード（延長コード）の接続

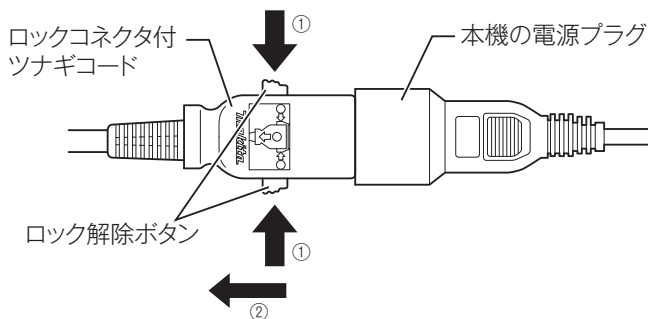
⚠ 警告

ロックコネクタ付ツナギコードをキャブタイヤコードに接続するときはスイッチが切れていることとロックコネクタ付ツナギコードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ ロックコネクタ付ツナギコードを本機の電源プラグに接続するときは、ツナギコードを本機の電源プラグの奥まで差し込んでください。



- ・ 取りはずすには、ロック解除ボタンを押した状態で本機の電源プラグからツナギコードを引き抜きます。



注

- ・ ロックコネクタ付ツナギコードと本機の電源プラグを接続したまま、コードを無理に引っ張ったり、本機をぶら下げないでください。
- ・ ロック解除ボタンを押さずに、無理に電源プラグを引き抜かないでください。
故障の原因になります。
- ・ ロックコネクタ付ツナギコードは、他の電気製品に使用しないでください。

使い方

腰用コードフックについて

⚠ 注意

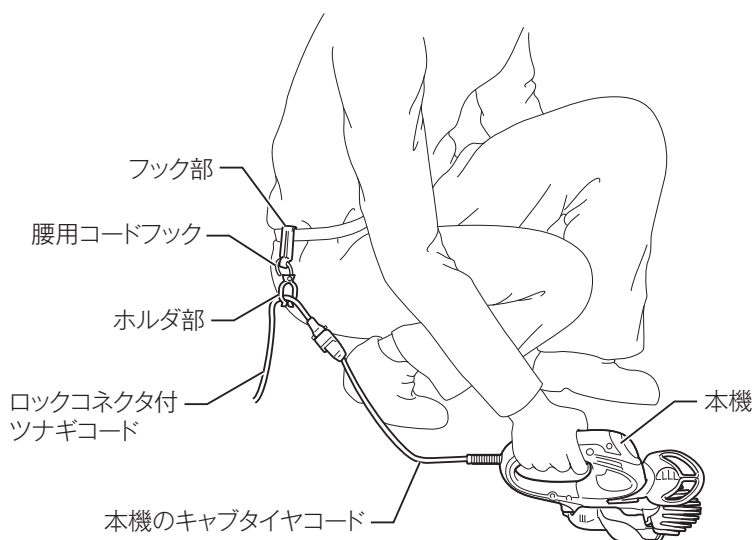
腰用コードフックのホルダ部はツナギコード以外には取り付けないでください。

- ・ 上記以外の使い方をすると事故やけがの原因となる恐れがあります。

腰用コードフックを使う場合、ツナギコードは標準付属品のコードを使用してください。

- ・ 市販の延長コードを使いますと、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- ・ 腰用コードフックを腰に付けて作業すると、ツナギコードのたるみによる不用意な切断の予防に効果があります。
- ・ 腰用コードフックは、フック部を腰に取り付けて、ホルダ部をツナギコード側の接続部より電源側に付けてください。



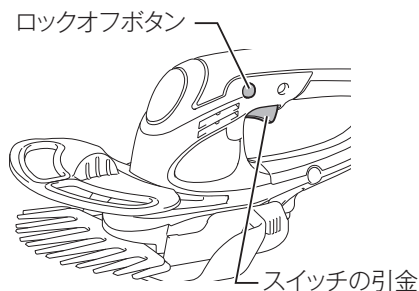
使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。
- ・ スイッチはロックオフボタンを押した状態で引金を引くと入り、放すと切れます。ロックオフボタンは、左右どちらの方向からでも押すことができます。
- ・ スイッチの引金を放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



使い方

ブレードカバーの取りはずし・取り付け方

⚠ 警告

ブレードカバーの取りはずし・取り付けの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

ブレードカバーの取りはずし・取り付けの際は、シャープブレードに触れないようにしてください。

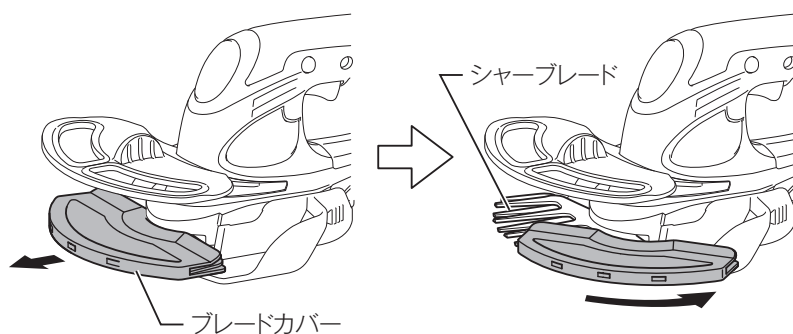
- ・ けがの原因になります。

取りはずし方

- ・ ブレードカバーを手前に軽く引き、横にスライドさせるようにしてシャープブレードから取りはずします。

取り付け方

- ・ 取りはずし方の逆の要領で行ってください。



使い方

刈り込み高さ調整

⚠ 警告

刈り込み高さ調整をする際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 本機が作動して、けがの恐れがあります。

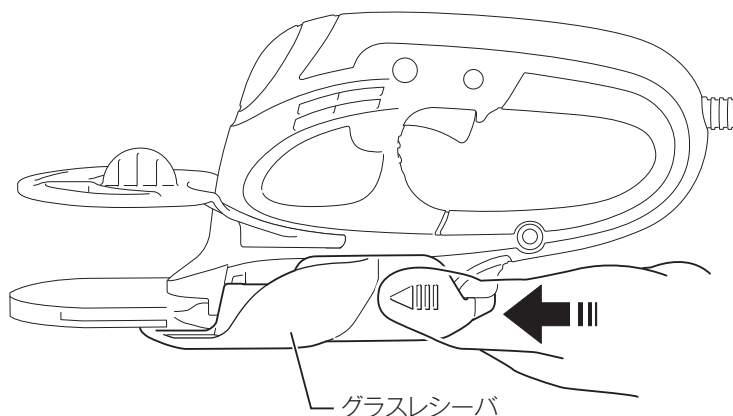
⚠ 注意

刈り込み高さ調整をする際は、ブレードカバーを取り付けた状態で行ってください。また本機とグラスレシーバの間に指をはさまれないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

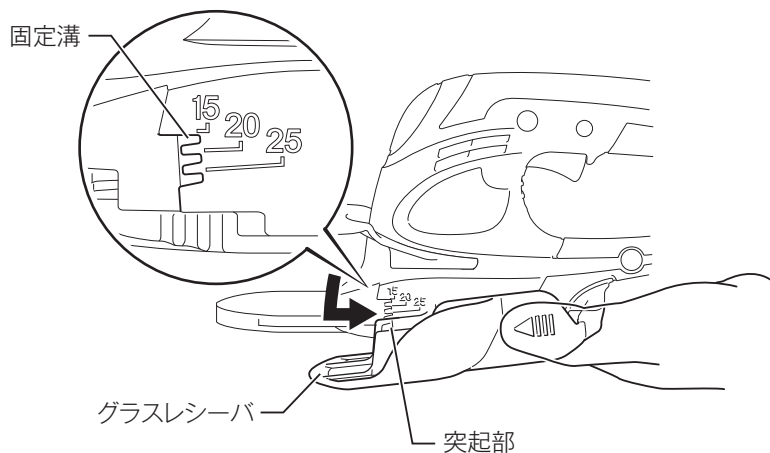
- ・ グラスレシーバの固定位置により、刈り込み高さを3段階（15、20、25 mm）に調整できます。グラスレシーバをはずして使用すると、刈り込み高さは約 10 mm になります。

1. グラスレシーバを本機の前方へ押しします。



使い方

2. グラスレシーバを矢印方向に動かして、突起部の固定する位置を変えます。



注

- ・ 刈り込み高さの数値は目安です。芝や地面の状態で変化することがあります。
- ・ 手前に引きながら刈り込みをすると、刈り込み高さの位置が変わることがあります。

使い方

グラスレシーバの取りはずし・取り付け方

⚠ 警告

グラスレシーバの取りはずし・取り付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 本機が作動して、けがの恐れがあります。

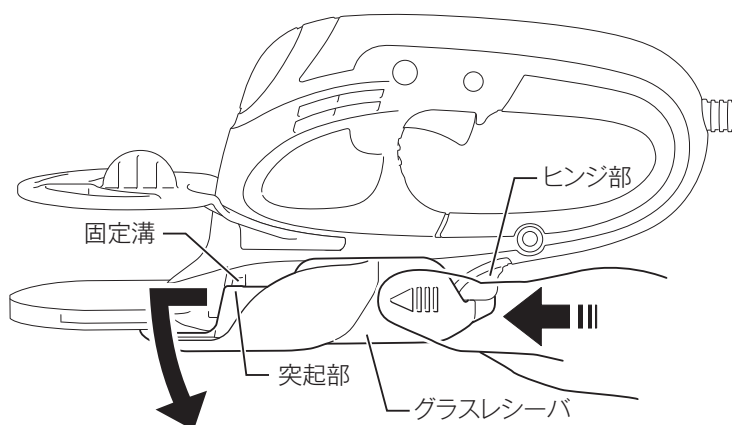
⚠ 注意

グラスレシーバの取りはずし・取り付けの際は、ブレードカバーを取り付けた状態で行ってください。また、本機とグラスレシーバの間で指をはさまれないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

取りはずし方

1. グラスレシーバを本機前方に押しながら、矢印方向に動かしてグラスレシーバの突起部を固定溝からはずします。
2. グラスレシーバのヒンジ部を本機からはずします。



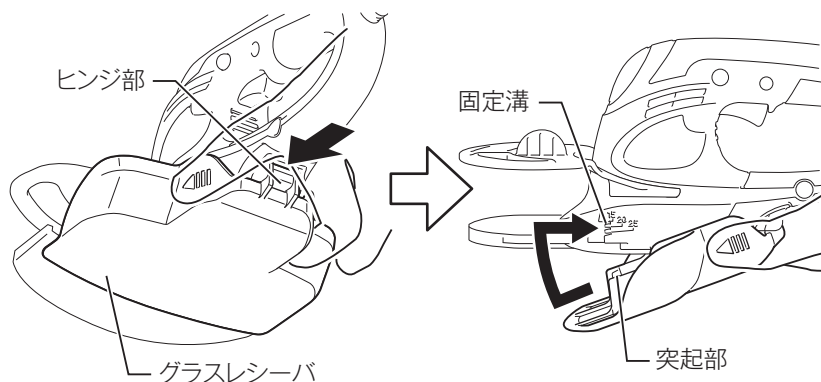
取り付け方

⚠ 注意

ガラスレシーバの突起部を固定溝にはめた後、ガラスレシーバのヒンジ部を本機に無理に取り付けしないでください。

- ・ 本機の損傷やけがの原因になります。

1. ガラスレシーバのヒンジ部を本機に引っ掛けます。
2. ガラスレシーバを本機前方に押しながら、矢印方向に動かしてガラスレシーバの突起部を固定溝にはめ込みます。



使い方

キワ刈りガードの取りはずし・取り付け方

⚠ 警告

キワ刈りガードの取りはずし・取り付けの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 本機が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

キワ刈りガードの取りはずし・取り付けの際は、ブレードカバーを取り付けた状態で行ってください。

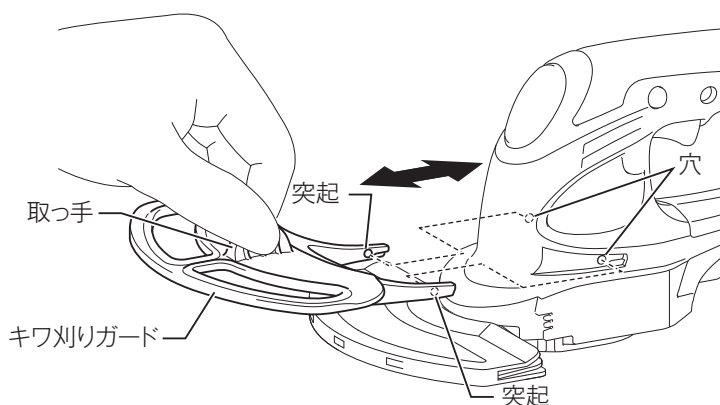
- ・ けがの原因になります。

取りはずし方

- ・ 取っ手を持ち、引っ張ります。

取り付け方

- ・ 取っ手を持ち、キワ刈りガードの突起（2箇所）が本機の穴（2箇所）に合うように取り付けます。



使い方

刈り込み方法

⚠ 警告

あらかじめ小石、棒切れなどを取り除いてください。



シャープレードの前方に手を出さないでください。

- ・ けがの恐れがあります。

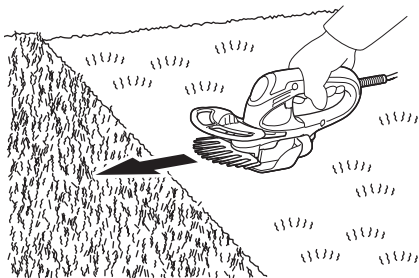
⚠ 注意

炎天下での作業はできる限り避けてください。炎天下での作業をされる場合には暑さ対策をし、体調に十分注意してください。

使い方

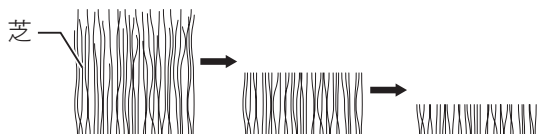
芝生の刈り込み

- ・ 刈り込み高さを調整後、スイッチを入れ、本機を芝生の上に置き、すべらせるようにして前進させてください。
- ・ グラスレシーバの高さを調整することにより刈り込み高さを変えることができます。



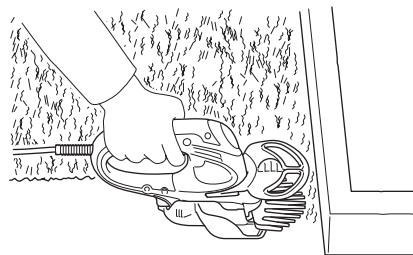
長い芝の刈り方

- ・ 長い芝は一度に短く刈らず日をあけて徐々に刈り高さを低くして短く刈りそろえてください。
- ・ キワ刈りガードの高さ程度まで伸びた芝を刈るときは、キワ刈りガードをはずした方がスムーズに作業できます。



注

- ・ 長い芝をいきなり低い刈り高さで刈ると、芝が枯れることがあります。
- ・ 縁石や塀、立ち木の周囲の刈り込みをするときはキワ刈りガードを縁石などに沿わせて刈り込んでください。



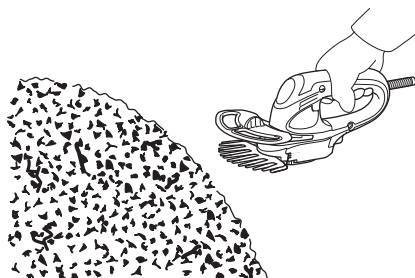
注

- ・ キワ刈りガードの高さより低い縁石や、凹凸のある縁石の周りを刈り込むときは、刃が縁石に当たらないように注意してください。
- ・ キワ刈りガードを縁石や塀、立ち木などに無理に押し当てると、キワ刈りガードがはずれる場合がありますので注意してください。

使い方

庭木の刈り込み

- ・ 植木や植込みの新芽や葉の刈り込みをするときは、少しずつ刈り込んでください。
- ・ 太い枝はあらかじめせん定バサミなどで刈り込み高さまで切っておいてください。



注

- ・ モーターがロックしたり、回転が極端に落ちるような使い方をしないでください。モーター焼けの原因になります。
- ・ 太い枝は切断しないでください。モーターが停止し、故障の原因になります。
- ・ シャープブレードに土が付くと切れ味が悪くなります。シャープブレードが地面に触れないようにしてご使用ください。
- ・ ぬれた芝生・植木などの刈り込みはしないでください。故障の原因になります。
- ・ キワ刈りガードを持って作業をしないでください。
- ・ キワ刈りガードに触れる際は必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

別販売品の使い方

腕用コードフックについて

⚠ 注意

腕用コードフックのホルダ部はツナギコード以外には取り付けないでください。

また、ツナギコード側の接続部より本機側に付けしないでください。

- ・ 上記以外の使い方をすると事故やけがの原因となる恐れがあります。

腕用コードフックを使う場合、ツナギコードは標準付属品のコードを使用してください。

- ・ 市販の延長コードを使いますと、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- ・ 腕用コードフックを腕に付けて作業すると、ツナギコードのたるみによる不用意な切断防止に効果があります。
- ・ 腕用コードフックは、バンドを図のように腕に巻き付けて、ホルダ部にコードをツナギコード側の接続部より電源側に付けてください。



注

- ・ バンドにはコードを通さないでください。
- ・ ホルダ開口部には無理な力を加えないでください。
ホルダ部の変形、破損の原因になります。
- ・ 標準付属品の腰用コードフックと合わせてご使用になりますとより効果があります。

シャープブレードの交換方法

⚠ 警告

シャープブレードの交換の際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

シャープブレード取り替えの際には必ず手袋およびブレードカバーを取り付け、手や顔などが直接刃物に触れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

注

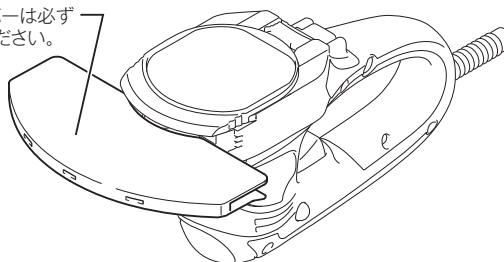
- ・ ギヤやクランクに付いているグリスは拭きとらないでください。故障の原因になります。

シャープブレードの交換方法

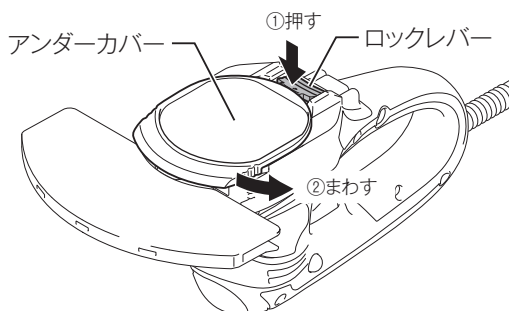
取りはずし方

- ・ グラスレシーバを取りはずしてから、本機を裏返します。(P20「グラスレシーバの取りはずし・取り付け方」参照)

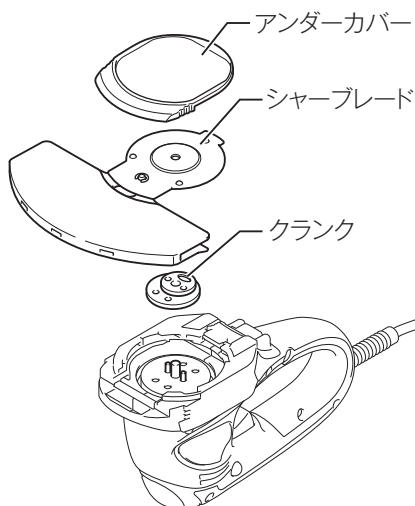
ブレードカバーは必ず
セットしてください。



- ・ ロックレバーを押しながら (①)、アンダーカバーの㊦印とロックレバーの△印の位置が合うまでアンダーカバーを反時計回りにまわします。(②)



- ・ アンダーカバー、シャープブレード、クランクの順に取りはずします。



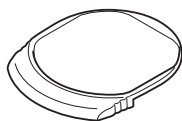
シャープブレードの交換方法

取り付け方

- ・ クランクとアンダーカバー、新品のシャープブレードを準備します。



クランク

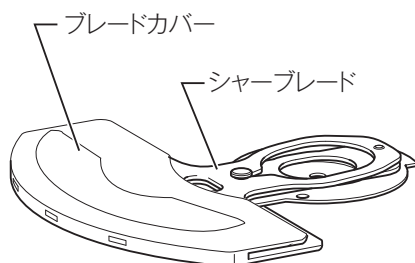


アンダーカバー

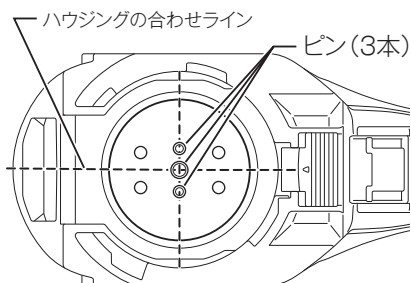


シャープブレード

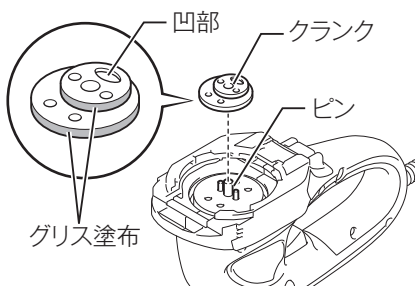
- ・ ブレードカバーを新品のシャープブレードに付け替えます。



- ・ ハウジングの合わせラインに対して直角になるように、3本のピンをそろえます。

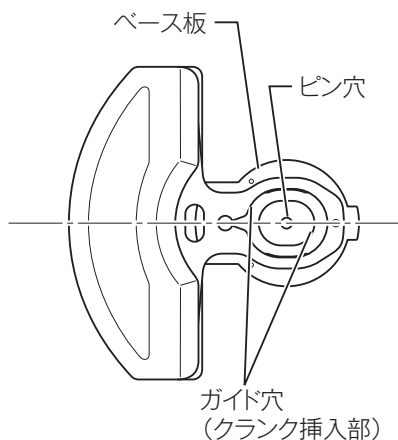


- ・ ピンにクランクの凹部を上にしてはめます。このとき、別販売品のシャープブレードに付属しているグリス、またはギヤ室に残っているグリスをクランク外周に少量塗布してください。

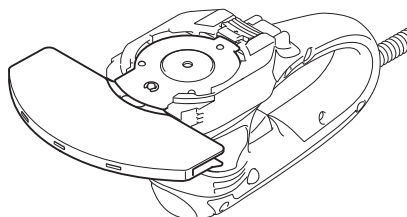


シャープブレードの交換方法

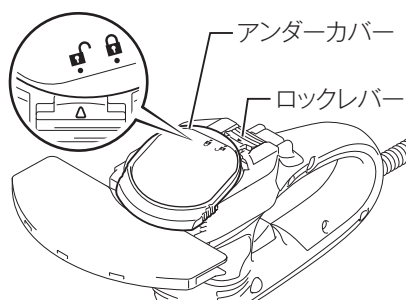
- ・ シャープブレードは上下2つのガイド穴（クランク挿入部）の中心にベース板のピン穴がくるようにシャープブレードを動かして合わせます。



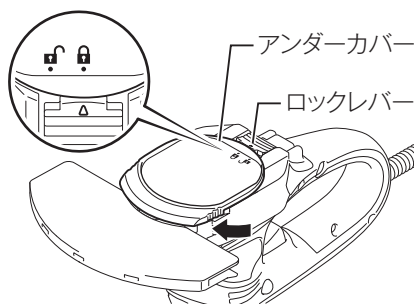
- ・ シャープブレードを裏返し、本機のピンとシャープブレードのピン穴を合わせて取り付けます。ベース板まで確実に納まっていることを確認してください。



- ・ アンダーカバーの🔒印とロックレバーの△印の位置を合わせてアンダーカバーをかぶせます。

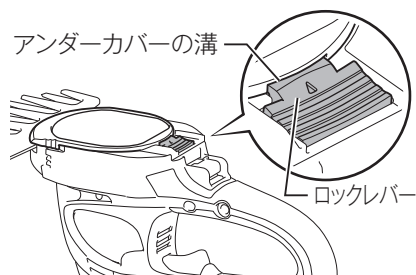


- ・ アンダーカバーを押し付けながら🔒印とロックレバーの△印が合うまで（ロックが確実にかかるまで）アンダーカバーを時計回りにまわします。



シャープブレードの交換方法

- このとき、アンダーカバーの溝にロックレバーがはまっていることを確認してください。
- グラスレシーバを取り付けます。
- ブレードカバーを取りはずした後、スイッチを入れて動作確認をします。



注

- シャープブレードが正常に動かない場合は、シャープブレードとクランクのかみ合わせが良くありません。もう一度最初からやり直してください。

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布や薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

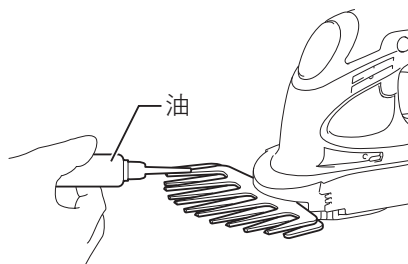
- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

シャープブレードのお手入れ

- ・ 作業後はワイヤブラシなどでシャープブレードの両面の汚れを落とし、布で拭きとってください。



- ・ 機械油などの粘度の低い油やスプレー式の潤滑油を十分に差してください。
- ・ シャープブレードが傷ついたときは、ヤスリなどで刃先を修正してください。



注

- ・ シャープブレードは水洗いしないでください。サビや故障の原因になります。

保守・点検について

保管

- ・ シャーブレードにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かない所に大切に保管してください。
- ・ 雨や水のかからない場所で保管してください。

注

- ・ シンナー、ベンジンなど揮発性のものは、故障の原因になりますので、使用して拭かないでください。また、揮発性物質の置いてある場所での保管はしないでください。

修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

882817D1

IWT